

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信  
No.1  
平成26年5月26日

## 家庭・地域社会との連携を一道徳通信の活用を通して

桜小学校では、学習指導要領の趣旨（全教科を通して道徳教育を充実させること、道徳の時間はその要として機能させる）や児童の実態を踏まえ、昨年度から「**自他のよさを認め、よりよい人間関係を築いていくことができる児童の育成**」～思いやりの心や感謝の気持ちを育てる道徳教育を目指して～という研究テーマの下、道徳教育の充実に力を入れて取り組んでいます。

これまで以上に様々な場面において道徳的な思考力や実践力が求められるなか、**家庭や地域社会との連携を図りながら、地域ぐるみで共に子どもの教育に取り組んでいきたいと考えています。**

そのための手段の一つとして、「道徳通信」の発行、活用を考えています。この道徳通信の名前を4年生以上の児童に募集し、いくつかの候補の中から、6年松組村上莉菜さんが考えてくれた、「心のとびら」というタイトルに決まりました。

### 【道徳通信でお伝えしたい内容】

この道徳通信では、主につぎの2点について保護者や地域社会に発信していきたいと考えています。

#### （1）学校で行っている道徳教育のねらいや内容

道徳教育は、道徳の時間だけでなく各教科や総合的な学習の時間、外国語活動の時間、学校行事や特別活動の中でも行われています。この道徳通信「心のとびら」を通して、道徳の時間のねらいや内容をお知らせするとともに、様々な教育活動の中で行われる道徳教育についてもお伝えしていこうと思います。

#### （2）子どもたちのものの見方や考え方

子どもたちのものの見方や考え方、価値観は、みな同じではなく、実に様々です。しかし、ご家庭では、わが子を通してでしか、それらを見ることができないのではないかと思います。そこで、この道徳通信を通して、子どもたちの見方や考え方、価値観等を少しでもお伝えできたらと思います。

保護者の皆様、祖父母の皆様、地域の皆様が、それぞれの子どもたちのよさを見つけ、地域ぐるみで、そのよさを伸ばしていくことに目を向けることができたらと思います。そして、わが子を通してだけでなく、**この道徳通信「心のとびら」を通して、子どもを理解する心のとびらが開かれ、視野に広がりが見られることを願っています。**

### 地域との連携のための具体的な取組

- 道徳の時間の授業公開（6月15日（日）ふれあい学級）
- 挨拶運動（市役所交差点で地域の方々に）
- 道徳通信「心のとびら」の発行